

【4-7 評価シート エビデンス総体】

診療ガイドライン	TNBC転移・再発乳癌に対してプラチナ製剤は勧められるか。
対象	転移・再発乳癌
介入	プラチナ含有レジメン
対照	プラチナ非含有レジメン

エビデンスの強さはRCTは“強(A)”からスタート、観察研究は弱(C)からスタート
 * 各ドメインは“高(-2)”、“中/疑い(-1)”、“低(0)”の3段階
 ** エビデンスの強さは“強(A)”、“中(B)”、“弱(C)”、“非常に弱(D)”の4段階
 *** 重要性はアウトカムの重要性(1~9)

アウトカム	研究デザイン/研究数	バイアスリスク*	非一貫性*	不精確*	非直接性*	その他(出版バイアスなど)*	上昇要因(観察研究)*	リスク人数(アウトカム率)						効果指標(種類)	効果指標値	信頼区間	エビデンスの強さ**	重要性***	コメント	
								対照群分母	対照群分子	(%)	介入群分母	介入群分子	(%)							
OS	RCT/3	-1	0	-1	0	-1		205				209			HR	0.76	0.57-1.0	中(B)	9	Yardley2018のイベント数不明,Tutt2018はdifference in meanOSによる評価でSRから除外
PFS	RCT/3	-1	0	-1	-1	-1		205				209			HR	0.61	0.49-0.76	中(B)	7	Yardley2018のイベント数不明,Tutt2018はdifference in meanPFSによる評価でSRから除外
ORR	RCT/4	-1	0	-1	-1	-1		393	243			397	200		RR	0.66	0.43-1.00	中(B)	6	Tutt2018のみRRに差はない

